

## 【研究概要】

十二指腸非乳頭部腫瘍は、腺腫や粘膜内癌であるうちに内視鏡切除することが望ましい。しかし、従来の内視鏡治療法では偶発症の発生率が高く問題であった。近年、海外および国内から十二指腸非乳頭部表在性腫瘍に対する UEMR の有効性・安全性が単施設前向き試験で報告され、国内でも UEMR を導入する施設が増えてきているが、有効性に関しては多施設試験での十分な根拠がある検討が行われていない。そこで、十二指腸非乳頭部表在性腫瘍に対する UEMR の完全切除割合を評価し、有効性を検証するための多施設試験を行うこととした。